

② がん医療に関すること

(1) 石川県内のがん診療連携拠点病院・ 地域がん診療連携協力病院・ 地域がん診療連携推進病院

国指定



県指定



石川県にはがんの専門的な診療を行う医療機関として、厚生労働大臣が指定する「がん診療連携拠点病院」と県知事が指定する「地域がん診療連携協力病院」「地域がん診療連携推進病院」があります。

これらの病院は、手術療法、薬物療法、放射線治療や緩和ケアを提供するほか、がん医療に従事する医師等の育成や地域の医療機関に対する診療支援、患者さんや家族への相談支援など、地域におけるがん診療の中核としての役割を担っています。

区分		病院名	所在地	電話番号
国指定	県がん診療連携拠点病院	金沢大学附属病院	金沢市宝町 13-1	076-265-2000
	地域がん診療連携拠点病院	石川県立中央病院	金沢市鞍月東 2-1	076-237-8211
		金沢医療センター	金沢市下石引町 1 番 1 号	076-262-4161
		金沢医科大学病院	河北郡内灘町大学 1-1	076-286-3511
		小松市民病院	小松市向本折町ホ 60	0761-22-7111
県指定	地域がん診療連携協力病院	公立能登総合病院	七尾市藤橋町ア部 6 番地 4	0767-52-6611
		恵寿総合病院	七尾市富岡町 94 番地	0767-52-3211
	地域がん診療連携推進病院	芳珠記念病院	能美市緑が丘 11 丁目 71 番地	0761-51-5551
		金沢市立病院	金沢市平和町 3 丁目 7 番 3 号	076-245-2600
		金沢赤十字病院	金沢市三馬 2 丁目 251 番地	076-242-8131
		地域医療機能推進機構金沢病院	金沢市沖町ハ 15 番地	076-252-2200
		浅ノ川総合病院	金沢市小坂町中 83 番地	076-252-2101
		石川県済生会金沢病院	金沢市赤土町二 13 番地 6	076-266-1060
		公立松任石川中央病院	白山市倉光三丁目 8 番地	076-275-2222
		加賀市医療センター	加賀市作見町リ 36 番地	0761-72-1188

(2) 石川県内のがんゲノム医療拠点病院・ がんゲノム医療連携病院

がんゲノム医療とは、主にがんの組織を用いて、遺伝子を網羅的に調べ、一人一人の体質や病状に合わせて治療などを行う医療のことです。

石川県にはがんゲノム医療を必要とする患者さんが、がんゲノム医療を受けられるよう、厚生労働省が指定する「がんゲノム医療拠点病院」と、がんゲノム中核拠点病院やがんゲノム医療拠点病院と連携してがんゲノム医療を行う「がんゲノム医療連携病院」があります。

区分	病院名	所在地	電話番号
がんゲノム医療 拠点病院	金沢大学附属病院	金沢市宝町 13-1	076-265-2000
がんゲノム医療 連携病院	金沢医科大学病院	河北郡内灘町大学 1-1	076-286-3511
	石川県立中央病院	金沢市鞍月東 2-1	076-237-8211

セカンドオピニオンは誰でも利用できます！

(3) セカンドオピニオン

セカンドオピニオンとは、患者さんが納得のいく治療法を選択することができるように、診断や治療方法について、主治医以外の医師の意見を聞くことです。セカンドオピニオンを聞いた後は、その意見を参考に主治医と再度、治療法について話し合うことが大切です。

セカンドオピニオンを受けるには、主治医や看護師、がん相談支援センター（P9）に相談してください。セカンドオピニオン外来を設けている医療機関への問い合わせ、予約が必要です。なお、セカンドオピニオンは医療保険が適用されませんので、全額実費となります。（医療機関によって金額は異なります。）

セカンドオピニオンを
受けたいけど…
主治医の先生が
気を悪くしないかな？…



大丈夫！！

「納得して治療を受けたいので
セカンドオピニオンを受けたいです！」
と伝えてみましょう。
早く紹介していただきますよ。
セカンドオピニオンを受けることは
病院に対して
失礼なことではありません。



(4) 緩和ケア

緩和ケアとは、がん等の病気などに伴う身体の痛み、つらい気持ち、療養場所や医療費のことなど、患者さんやご家族が直面するさまざまな問題に対して対処することで、生活を送ることが出来るようにすることを目的としたものです。

緩和ケアというと、「終末期医療」と思われがちですが、病気の時期に関わらず、がんと診断されたときから始まります。緩和ケアは、入院中でも、外来通院中でも、自宅療養中でも受けることができます。

● がん診療連携拠点病院等の緩和ケア外来・病棟

病院名	連絡先	外来	病棟
金沢大学附属病院	076-265-2000	○	
石川県立中央病院	076-237-8211	○	
金沢医療センター	076-262-4161	○	
金沢医科大学病院	076-286-3511	○	
小松市民病院	0761-22-7111	○	○ 10 床
公立能登総合病院	0767-52-6611	○	
患寿総合病院	0767-52-3211	○	
芳珠記念病院	0761-51-5551	○	
金沢市立病院	076-245-2600	○	
石川県済生会金沢病院	076-266-1060	○	○ 28 床
公立松任石川中央病院	076-275-2222	○	

がん診療連携拠点病院等以外にも、外来や病棟がある医療機関もあります。

城北病院	076-251-6111	○	○ 20 床
------	--------------	---	--------

※上記以外にも、緩和ケアを提供している医療機関や、他の医療機関と連携しながら提供している病院があるので、医師や看護師、がん相談支援センターに相談してください。

痛みやつらさがかかえているときは、「緩和ケアを受けられますか?」「痛みの治療の専門の先生と一度話をしてみたいのですが」と主治医や看護師に伝えてみましょう。



緩和ケアはがん治療ができなくなってから始めるものではなく、がんと診断を受けた時からいつでも受けることができます。

● 緩和ケア病棟

緩和ケア病棟は緩和ケアに特化した病棟であり、がんに伴う様々な症状を和らげ、患者さんが少しでも穏やかに自分らしい日常生活を過ごすことができるように、がんの緩和治療とともに生活の支援をすることを目的としています。また、ご家族の不安や悩みに対応するサポート体制も整えています。

緩和ケア病棟に入院しても退院・外泊・外出ができます。退院後在宅で緩和ケアを受けることもできます。

入院中の医療費は各種健康保険が適用されます（食事代は別になります）。詳しくは各病院がん相談支援センターにお問い合わせください。病棟見学もできますよ。



● 緩和ケアチーム

緩和ケアチームは、入院中の患者さんや外来通院中の患者さんに治療と平行しながら緩和ケアを提供しています。身体の痛みや精神的なつらさなどの治療のほか、患者さんの社会生活や家族を含めたサポートを行うために、医師、看護師、臨床心理士、薬剤師、栄養士、リハビリの専門家、医療ソーシャルワーカーなど様々な職種の人たちが一緒に協力し合って対応しています。

身体や心のつらさを和らげることが緩和ケアです。
緩和ケアで体や心のつらさを和らげることが治療の効果を高めることにもつながります。
そのためには緩和ケアの専門家の力を借りていくことも大切です。

(5) リンパ浮腫

- ・症状があればできるだけ早く、医師に相談し、専門のリンパ浮腫外来などを受診しましょう。
- ・適度に体を動かして、リンパ液の流れを促すこと、保湿などのスキンケア、肥満を予防すること、体の部分的な圧迫を防ぐことなどが予防になります。術後に気を付けるとよいことについて、主治医や看護師に確認しましょう。

● リンパ浮腫に関する相談 地域ケア「IPNU(いぶな)地域相談室」浮腫ケア看護相談

手や足のむくみが気になっていませんか？「もしかしてリンパ浮腫かも…」とご心配の方、「治療やケアを、日常生活の中でどう続けたらよいのだろう」とお悩みの方へ。どうぞ、お気軽に浮腫ケア看護相談室にご相談ください。浮腫ケア看護相談室では、看護師・リンパ浮腫療法士の資格を持つ、リンパ浮腫を専門とする大学教員が、以下のようなご相談に対応しています。

受診先や治療が受けられる
医療機関の窓口に関するご案内

ご自身に合った
セルフケアの方法や継続の工夫

日常生活の中で実践できる
ケアのポイント

また、地域の皆さまを対象にしたリンパ浮腫に関するセミナーや勉強会を開催し、正しい知識や日常生活で役立つケアの方法を分かりやすくお伝えしています。さらに、リンパ浮腫ケアに関する啓発活動にも取り組み、地域全体での理解と支援の輪を広げています。

【場所】

石川県立看護大学
〒929-1210
石川県かほく市学園台 1 丁目 1 番地
<https://www.ishikawa-nu.ac.jp/>

【問い合わせ先・予約方法】

臺（だい）美佐子（石川県立看護大学 成人看護学教授）
【メール、お電話、または相談フォームへ】
メールアドレス：daim000@ishikawa-nu.ac.jp
電話番号：076-281-8334（代表）

相談フォーム
QRコード

